

さつきやま森の学び舎 ようちえん部

今やりたいことが1番目

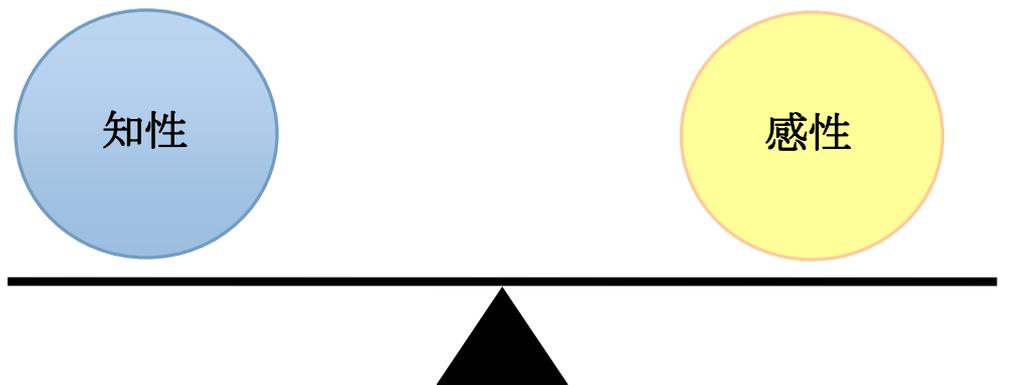


★さつきやま森の学び舎とは

池田市、能勢町でオルタナティブ教育（独自の教育方針で教育を行うこと）を実践しているデモクラティックスクール（民主的に運営されているスクールのこと）です。自然の中で遊び、日本の文化や自然との共生の知恵を学びます。

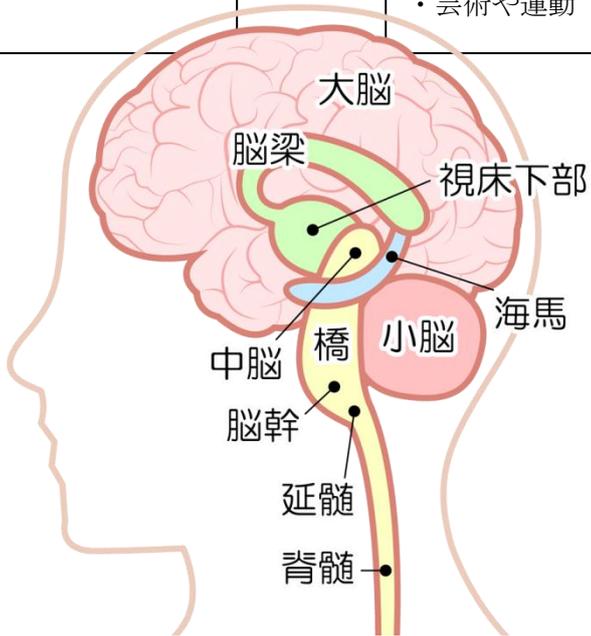
★私たちの「共育」の方針

「信頼」に基づいて行われている学び舎の教育。その教育を実体験して頂き、一緒に育って行くことを目標としています。



知性とは？
「結論を導き出す力」
・勉強で身に付く
・大脳新皮質辺りを使う
・評価しやすい
・理性やルールをつかさどる
・言語や計算

感性とは？
「判断を導き出す力」
・付け方がわからない
・古い脳を使う
・評価しにくい
・感情ややる気をつかさどる
・芸術や運動

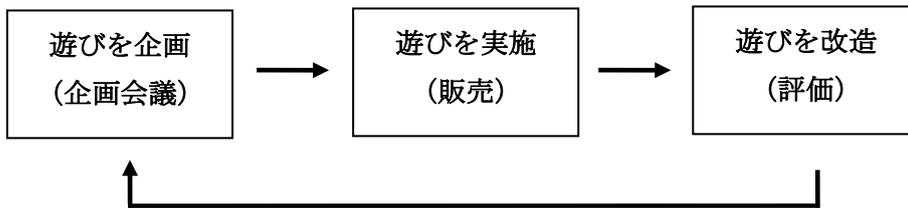


創造力

自分たちで遊びを考え、実行する。

私たちはそれに対しての時間と場所の保証をします。

いろいろなことに夢中になれる環境を大切にしています。



つながり

「自然とのつながり」 = 自然と生きるための知恵を学びます。

「友達とのつながり」 = 人間関係とコミュニケーションを学びます。

「自分とのつながり」 = 自分（心、体等）との付き合い方を学びます。

「自然とのつながり」



朝の気温が下がった時、子どもたちは真っ先に氷が張っているかを見に行く。それは肌が気温を感じたから。そこには、昨日の自然の記録が詰まっている。

空を見て、明日の天気を知り。川の水の量を見て、降水量を知る。自然の中ではこの観察する力が勝手についてくる。

自然の中で本を読んでいても、風を感じ、匂いを感じ、太陽を感じ。結局は五感を使っている。そこから感じる力が育って行く。感じる力が感性の基本となる。

「友達とのつながり」



安心できる人間関係を作る練習をする。

人は一人では幸せになれません。どんなことでも、そこに关わる人がいます。その人と繋がり、安心できる環境を作る。これは、生きていく上でこの上もなく大切なことです。

子どもは自分を全て出して生きています。ただ、大人になるに従い段々と自分を隠すようになります。それは成長の一つではありますが、「出してはいけない恐怖」からくる時もあります。

自分のことを認めてくれる友達は、大人になってからも大切な関係の人となります。

そのようなつながりを作る練習をしていきます。

「自分とのつながり」



しっかりと自分とつながれている大人はどれくらいいるのだろうか？ 自分の感情をしっかりと知って、何が大切なのかを知る事。これは生きる上で大切なことだ。好きなことは何なのかが分からない大人が増えている。本当にやりたい事が出来ない大人が増えている。学び舎に来たら本当にやりたい事をやって欲しい。そのために子どもたちが先輩としてみなさんに関わります。学び舎では、心に直接語り合うことの出来る自分になって欲しいと思っています。

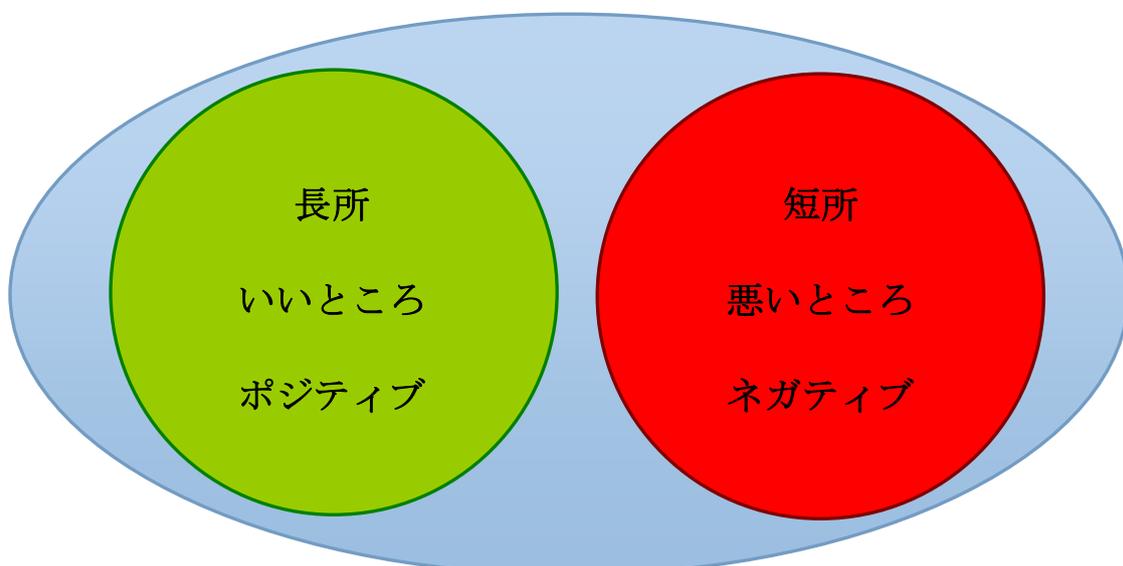
文化と共生

日本は世界にまれな、自然と共生する文化を持っている国です。それは私たち日本人の祖先たちが発見し、培い、伝えてきたものです。その自然との共生の知恵を学ぶ機会を提供していきます。



自己肯定感

どんなことでも、必ず認められること。それが自信につながり、意欲的に、さらに積極的になっていきます。また自分を認められることで他者を認めることができるようになります。



自由と責任

自由とは「自ら決めて実行すること」。学び舎は自由ではありますが、時にやったことへの責任を取る必要があるときがあります。自分ができることが増えると、自由にできる空間を広げることができる。責任は外からくるものでなく、自分の中にあるものと考えています。

心身の成長

体の成長＝心の成長だと考えています。子供たちは日々成長しています。それぞれ、成長の順番は違いますが、心、体ともに毎日刺激を受けています。私たちはその力を見守り、安心できる環境を用意していきます。

パートナー

保育をするスタッフだけでは子どもたちの成長を支えることはできません。保護者も一緒に、わが子の成長を実感し、子どもと出会えた喜び、親である喜びを共有してきたいと考えています。

★スタッフの役割

スタッフは、何かを教える先生とは違い、子ども達の力を信じて、共感と尊重に基づいたコミュニケーションを通じて、子ども達の気持ちに寄り添い、見守りながら、一人ひとりの力が伸びていくサポートを行います。子どもの特徴、心身の発達、学力、資質等を観察しながら、子どもたちの成長をサポートしていきます。

★危険について

私たちは、その都度、天気、季節、安全性などを考慮し最適の活動場所を選んで行います。先回りをして子どもたちの前から危険を排除しません。

子どもたち自身が「危険のサイン」「何が危険なものか」「自分がどうなるのか」「危険にどう対応したらいいか」を知り、行動できるようにサポートしています。

①喧嘩について

基本的に、喧嘩は止めません。

(顔から上のアクションや、大きなケガにつながるアクションは注意します。)

「人と関わること、コミュニケーションの手段」を学ぶ、大切な機会だととらえています。必要であれば、スタッフが会話が破たんしてしまった子どもたちの間に入り、会話の橋渡しを行うこともあります。

②道具について

「包丁」「火」「のこぎり」「きり」「なた」などいっぱい道具を使います。

③自然や生き物について

五月山には蜂やイノシシがいます。いつも遊ぶ川にはへびや魚がいます。

ひとつひとつの生き物との出会いを大切に、正しい付き合い方を学びます。

④熱中症対策などについて

スタッフは各フィールドで起きうる事故やけがに備え、その時期に合った、安全管理研修を行っています。

【安全管理研修の主な内容】 ※次の季節に必要な研修を行っています。

- 春 水難救助法・熱中症・日焼け対策・緊急時のマニュアル研修、毒やトゲを持つ植物に対するリスクマネジメント
- 夏 スズメバチ対処法・ダニの対処法・防災対策
- 秋 感染症と伝染病の予防と対策・雪中時の対策法・イノシシ対策、火傷と怪我に対するリスクマネジメント
- 冬 マダニやヘビなど毒やウイルスを持つ動物に対するリスクマネジメント

★活動拠点について

ハウス： 池田市西本町3-1

照乃み系：豊能郡能勢町上田尻275

★クラスイベントについて

1年間の中で行うイベントは下記です。(2019年度のもの)

入園式、歯科検診、田植え、夏旅、稲刈り、収穫祭、クリスマス会、冬旅、進級・卒園式